

数値目標に対する評価報告

基本計画が掲げる目標項目	数値目標	算出方法及び基礎情報	所管課	単位	分子	分母	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	達成状況	
自然公園の利用者数	110,000人	憩いの森公園(西条町)、ニツ山公園(黒瀬町)、わにぶちの滝公園(福富町)、県央の森公園(福富町)、やすらぎの園(豊栄町)、深山峡公園(河内町)、あきまろの里(安芸津町)、龍王島自然体験村(安芸津町) 8公園 (HPより)	都市整備課	人			115,595	93,325	100,485	97,676	101,405	109,693	57,646	111,030	111,030人 達成状況 達成	
		自然公園の数推移	都市整備課	公園			8	8	8	8	8	8	8	8	8	
歩いていける範囲の都市公園等の市街地に対する整備率	70%	※東広島市緑の基本計画で定めた目標 70% (A)/(B)	都市整備課	%	(A)市内の各公園(住区基幹公園及び都市基幹公園とそれらに準じる公園)の境界線から外側に250m後退した外郭線で囲まれる面積の合計(重複は除く) 年度ごと数値	(B)市街地(用途区域のうち、居住できない工業団地・大学、山林、水面を除く)の面積	68.0	68.4	68.6	68.7	69.1	69.3	69.5	70.0	70.0 達成状況 達成	
		(A)市内の各公園(住区基幹公園及び都市基幹公園とそれらに準じる公園)の境界線から外側に250m後退した外郭線で囲まれる面積の合計(重複は除く) 年度ごと数値	都市整備課	面積ha			1,197	1,204	1,207	1,209	1,216	1,220	1,224	1,232	1,232	
		(B)市街地(用途区域のうち、居住できない工業団地・大学、山林、水面を除く)の面積 年度ごと数値	都市整備課	面積ha			1,760	1,760	1,760	1,760	1,760	1,760	1,760	1,760	1,760	1,760
公園里親制度活用団体数	60団体	※東広島市緑の基本計画で定めた目標 H28.12.27現在 西条30、八本松15、高屋8、志和5、黒瀬7、河内2、安芸津4 市HPより	都市整備課	団体			40	50	61	66	70	77	78	79	79団体 達成状況 達成	
		各年度の新規追加団体数	都市整備課	団体			7	10	11	5	4	7	1	1	1	
間伐を実施すべき森林の面積	-	広島の森づくり事業の環境貢献林整備事業(間伐)実績	農林水産課	ha/年			15.7	28.08	29.6	18.07	12.8	4.63	11.49	11.18	評価なし	
耕作放棄地解消面積	20ha	解消面積の「総面積」実績	農林水産課	ha/年			-	1.7	2.0	2.0	3.7	4.1	4.1	4.1	H24~R1での累積 4.1 ヘクタール ※1ha=10,000㎡ 本市面積 63,532 ha 達成状況 4.1 / 20 = 約20%	
		年度ごと解消面積 市や国等の補助事業による解消面積対象面積	農林水産課	ha/年			-	1.7	0.3	0.0	1.7	0.4	0.0	0.0		0.0
		耕作放棄地 (年度末での総面積) 農林業センサスから (農林業センサスとは農林業施策の企画・立案・推進のための基礎資料となる統計を作成し、提供することを目的に5年ごとに行う調査)	農林水産課	ha			1,124	1,124	1,124	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424		1,424
エコファーマー認定件数	15件	認定中 件数総計(年度末のもの)	農林水産課	件			77	90	98	98	27	26	11	2	現在認定中	
		年度ごとの新規認定件数 認定不継続があれば()内に数字 (毎年度の照会回答による)	農林水産課	件			2 (1)	15 (1)	10 (2)	0 (0)	0 (71)	1 (2)	0 (15)	0 (9)	2件 達成状況 達成済	
水洗化人口普及率	79%	水洗化人口普及率とは、水洗化人口が行政人口に占める割合 下水道に関しては排水設備申請がなされた家屋×平均世帯人口による。 浄化槽人口は実際に使用している人の数(定められた推計方法)	下水道管理課	%	水洗化人口(公下+特環+農集+浄化槽)	行政人口(平成24年以降は外国人を含む)	75.7	78.3	79.9	80.6	81.7	82.5	84.8	85.4	85.4% 達成状況 達成	
「東広島発!ものづくり逸品」の認定を受けた環境関連製品の数	10件	産学金官連携等によって生まれた中小・ベンチャー企業等の優れた製品を「東広島発!ものづくり逸品」として認定し、これらの販路拡大、製品のイメージアップ、新市場への進出を支援することで地域産業の活性化につなげていくことを目指す。 せせらぎ室内ビオトープ(H21)、パンパーテコカーテン緑化システム(H21)、KPE段ボール(H22)、エコロジ・パコ(H22)、蚊シャットくん。(H22)粉塵抑制装置(ダストバスターミストネット)(H25)、パンパーソルコマット駐車場緑化システム(H28) →の()内は総数。(1年間に1件認定で10件が目標)	産業振興課	件			(5) 0	(6) 1	(6) 0	(6) 0	(7) 1	(6) 0	(8) 1	(8) 0	達成状況 現在認定数 8 件 8 / 10 = 80%	
環境に関する講師を招いて実施した環境学習の授業時間数	246時間	※基本計画策定時の算定根拠は「市内小学校35校のうち26校が環境に関する講師を招いて環境学習を実施している」とある。平均7時間として、183時間(26×7で182であるが...)。目標数値246時間-183時間で63時間増やすことが目標 →環境学習の時間数及び実施した小学校数	指導課	時間/年			-	98 (14校) 小中学校合算	-	164 (27校)	112 (19校)	91 (13校)	112 (16校)	126 (18校)	144時間 達成状況 144/246=58.5%	
		※中学校について →環境学習の時間数及び実施した中学校数	指導課	時間/年			-	-	8 (2校)	10 (1校)	8 (1校)	7 (1校)	14 (2校)	14		
		エコ探検隊(平成29年度より開始された)1日2時間を7日(8回開催だが、8回目は講師が不在。振返り講座)	環境対策課	時間/年									14	14	4	
		環境リーダー事業(講師への謝礼実績により時間数を算出。平成24年度については、実績確認ができなかった)	環境対策課	時間/年						4	12	57	50	19	4	0

基本計画が掲げる目標項目		算出方法及び基礎情報	所管課	単位	分子	分母	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	達成状況
環境に関する出前講座の実施回数	50回/年	生涯学習課より「出前講座」実績一覧の提供を受け、「環境」に関連すると思われる講座を環境対策課が抽出する。抽出する対象は、「水環境」「廃棄物」「生物」「光害」「温暖化対策」とする。(食育、農業等は含まない) H30年度において環境対策課が抽出した件数	生涯学習課	回/年			16	50	27	31	33	38	20	37	64回 達成状況 達成
		廃棄物対策課が生涯学習課を bypass 開催した講座	廃棄物対策課	回/年			0	1	19	27	15	31	20	13	
		環境対策課が生涯学習課を bypass 開催した講座()内は全講座開催数	環境対策課	回/年			0 (6)	0 (8)	0 (13)	0 (14)	0 (12)	0 (14)	0 (5)	0 (16)	
		下水道管理課が生涯学習課を bypass 開催した講座()内は全講座開催数	下水道管理課	回/年			13 (13)	0 (16)	9 (10)	0 (0)	0 (6)	0 (2)	0 (2)	0 (0)	
		・浄化センター見学回数 ※「出前講座」申込み分も含む H24:600人、H25:432人、H26:729人、H27:351人、H28:964人 H29:311人 平成24年度～平成28年度 参加者述べ人数 3,387人	下水道施設課	回/年			8	14	13	11	20	10	11	7	
・水道局給水課 浄水場見学回数 ※「出前講座」申込み分も含む H24:402人、H25:603、H26:455人、H27:357人、H28:597人、H29:847人 H30:353人 平成24年度～平成30年度 参加者述べ人数 3,614人	水道局給水課	回/年			8	10	7	13	11	12	9	7			
市民活動情報サイト(環境eco)の登録団体数	47団体	住民自治協議会団体数47。1小学校区に1登録団体があることが目標に設定されている。全登録団体は平成30年5月時点で269団体。うち「環境分野」として登録されている団体数⇒	地域づくり推進課	団体			13	13	17	18	22	26	27	27	27団体 達成状況 26/47=57%
動物基礎調査・水生植物基礎調査で確認された種数(ただし外来生物は除く)	次回調査時に同種数以上を確認	現況把握の意味合いが強く、定期的な種数調査は実施していないものと判断する。	文化課	種			-	-	-	蝶:5科92種 トンボ:11科83種 水生生物:77種	蛾:47科1200種 オオサンショウウオ(成体):63個体	オオサンショウウオ(成体):112個体	動物(鳥)167種 植物127種		動物(鳥)167種 植物127種 達成状況 達成
市民1人1日当たりのごみ排出量	850g	可燃物(家庭・事業系)+不燃物(家庭・事業系)+直接資源化+資源回収等の総重量を、行政人口により割り算し、365日でさらに割る	廃棄物対策課	g/人・日			984	988	999	1,006	976	982	986	961	961g/人・日 達成状況 未達成
きれいなまちづくりキャンペーンの参加者数	16,700人	参加者数(別途シートにて「各会場ごと人数」)参加者名簿を参照に集計している。	廃棄物対策課	人			13,317	12,991	12,401	13,136	13,123	12,229	11,574	12,127	12,127人 達成状況 12,127 / 16,700 =73%
		会場数(平成30年度から龍王小が追加)	廃棄物対策課	箇所			53	53	53	53	53	53	54	54	
		参加収集業者	廃棄物対策課	社			18	18	18	18	18	18	18	18	
生活環境項目に係る排水基準のうち、一般項目の適合率(水質)	83%	河川・海域の環境基準適合率(環境基準値未満の回数/測定回数)「排水基準」とは事業場等に課せられる基準であり、環境基準とは異なる。BOD,CODについては年間測定値の75%値を採用している。その際、BOD,CODの測定回数は1回として計算される。	環境対策課	%	環境基準を満たした地点数	類型指定のある公共用水域水質調査地点数(県調査地点を含む)	81.0	78.5	82.5	81.8	80.2	78.8	79.3	77.8	77.8% 達成状況 77.8/83=93.7%
大気汚染に係る環境基準項目のうち、二酸化硫黄・二酸化窒素・浮遊粒子状物質の適合率	100%	「広島県が西条小学校・旧入野小学校で測定している(24時間機器整備等に要する日以外毎日)4項目、二酸化硫黄・二酸化窒素・浮遊粒子状物質・光化学オキシダントのうち、広域的な対策を要する光化学オキシダント以外の3項目すべてが適合する状態の維持を目標とした。」策定時の目標設定。二酸化硫黄については平成22年度から河内入野では測定していない。	環境対策課	%	環境基準適合箇所数	全測定箇所数	100	100	100	100	100	100	100	100	100% 達成状況 達成
		広島県測定箇所に限らず、東広島市内で測定された結果についても含んだ場合 広島県測定:西条小学校、旧入野小学校の2か所 東広島市測定:市内13か所。市の測定は常時監視ではなく、月1回)	環境対策課	%	環境基準適合箇所数	全測定箇所数	100	100	100	100	100	100	100	100	
騒音に係る環境基準適合率	90%	自動車騒音測定結果は含まない。環境騒音測定結果が対象	環境対策課	%	環境騒音測定箇所のうち環境基準適合箇所数	環境騒音測定箇所数	-	84.4	86.7	93.3	96.7	96.8	97.3	98.9	98.9% 達成状況 達成
民生家庭部門の二酸化炭素排出量	20%以上削減	東広島市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)において算出(基準年H25)【概算値】	環境先進都市推進室	千トン				405	392	379	387	国統計データの集計まち			387千トン (H28時点で達成率96%)
新エネルギー等の導入目標	期待可採量の20%以上	太陽光の発電実績【概算値】	環境先進都市推進室	%							6.0				
		小水力発電【概算値】	環境先進都市推進室												
廃棄物系バイオマスの利用率(家畜系排せつ物、事業系食品廃棄物、廃食用油、製材残材、建設廃材、街路・公園等剪定枝、道路・河川・公園等刈草、下水汚泥)	92%	→東広島市バイオマスタウン構想による目標値【概算値】	環境先進都市推進室	%										100%(下水汚泥)	100% 達成状況 達成
未利用バイオマスの利用率(林地残材、果樹剪定枝、もみ殻、稲わら、ゴルフ場刈草、ゴルフ場枯枝・枯木)	40%	→東広島市バイオマスタウン構想による目標値【概算値】	環境先進都市推進室	%											評価なし
公共施設からの二酸化炭素排出量	年1%以上削減	東広島市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)において算出(基準年H25)【概算値】	環境先進都市推進室	t				27,466	26,138	25,617	25,903	26,339	25,398	24,812	達成状況 達成